

開館
20周年

記念企画展と特別企画を開催!

日本遺産
「北前船」
について
詳しくは
こちらから



企画展

北前船と新潟 — 廻船と日本海海運の時代

江戸・明治時代に、現在の北海道—大阪間の海路で、港から港へ商品を売買しながら航海した北前船。この北前船をはじめとした廻船は、各地に点在する港町を結び付け、活気づけていきました。中でも、信濃川河口左岸にあった新潟町は、日本海海運と信濃川や阿賀野川の河川舟運が交わる要所であり、多くの廻船が行き交う繁華な港町として発展しました。

同館の開館20周年を記念し、北前船をはじめとした廻船と日本海海運の歴史を振り返ります。



▲新潟信濃川帰帆



▲諸国名所百景 越後新潟の景

会期 7月27日(土)～9月1日(日)
※土曜11時にギャラリートークを実施
観覧料 一般500円、高校・大学生300円

1 北前船の登場
日本海航路と北前船登場の歴史を紹介します。



▲船単筒

▼蟹の手振り



2 新潟町と廻船
廻船の寄港地を紹介します。



行田魁庵 新潟入船之図 (個人所蔵)



▲廻船問屋前田松太郎の引札 (新潟ハイカラ文庫所蔵)

3 廻船問屋と船主
廻船問屋と北前船の商品取引について紹介します。

北前船は、自ら商品を仕入れて、運んで売ることでもうけていました。時に莫大な利益を得る一方、船が難破して大きく損をすることも。今より航海が危険な時代に荒波を越えて商売に挑んだ人々の歴史を紹介します!

4 海運の荷品
廻船が運んだ荷品を紹介します。



▲焼酎徳利 (公益財団法人鶴友会所蔵)



同館学芸員 **安宅さん**

特別企画 北前船の面影を追う みなとまち巡り

多くの北前船が寄港した新潟湊には、その繁栄と歴史を語る文化財が今も残っています。この新潟湊の繁栄には、河川交通でつながる内陸の川湊(在郷町)が大きく関わっていました。

特別企画では、北前船に関する歴史・文化を探るため、新潟をはじめ、市内の主な川湊だった町を水上、陸上から巡ります。現地を訪ね、北前船時代の新潟市に思いをはせてみましょう。



夏休み! 親子新潟みなと歴史探訪



ウォーターシャトルに乗って水上から新潟港の過去と現在を探ります。

日時 8月18日・25日(日)13時～16時 **集合・解散** 同館
対象 小学生と保護者 **定員** 各日40人 **料金** 無料

申し込み 8月9日(金)までに専用フォーム=右上=から申し込み



新潟湊とつながる川湊を巡る日帰りツアー



ウォーターシャトルなどに乗って、河川交通を通じて新潟湊と結びついていた各区の川湊(在郷町)を巡ります。学芸員が同行・解説し、現地ガイドによるまち歩きを実施します。

定員 各40人(20人) ※各先着 **料金** 9,800円(14,800円)

申し込み 7月24日(水)10時から電話で(株)トラベルマスターズ(☎0256-77-8056) ※時間、集合・解散場所など詳しくは同館ホームページに掲載

- ① 中ノ口川の在郷町 白根と大野を巡る **日** 9月8日(日)
- ② 新井郷川の在郷町 葛塚を巡る **日** 9月21日(土)
- ③ 信濃川の在郷町 小須戸と酒屋を巡る **日** 9月29日(日)

日本遺産「北前船」の文化財を巡るツアー



日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落」が文化庁に認定され、新潟市も構成自治体の一つになっています。

日本遺産「北前船」の構成文化財を、同館監修のツアーで巡ります。 ※乗船なし

日時 10月14日(祝)・23日(水) **定員** 各日先着30人
申し込み 7月24日(水)9時から電話でハミングツアー(☎0570-037154)
※時間、集合・解散場所、料金など詳しくは同館ホームページに掲載

信濃川・阿賀野川を軸とする河川交通によって発展してきた新潟市域の町の特徴が実感できます。北前船の往来に関わってきた町を巡る体験で、ますます新潟に興味を湧くと思います!



同館副館長 **小林さん**